

進路

だより

No. 44

貝塚市立第二中学校
2014年2月28日発行

保護者の方にも必ず見せてください

クラスの仲間づくりが試される時。あなたの人格力が試される時。

昨日、公立前期入試の合格発表がありました。合格された皆さん、おめでとうございます。これから後期試験に臨む皆さんは、いよいよこれからが本当の勝負です。最後まで頑張ってください。

あるクラスでは、私立専願や前期合格で進路先が確定した人たちが、今日の授業を本当に真剣に受けていました。入試前とまったく変わらず、、、というよりも、もしかしたら入試前より真剣に授業を受けていました。

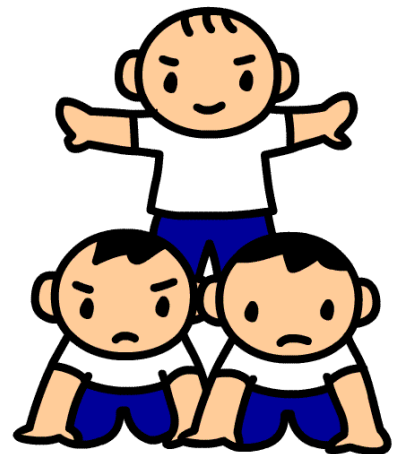
その教室からは、まだ進路先が確定していないクラスの仲間への優しさや思いやりが伝わってきました。クラスの仲間として、そして一人の人間として、進路先が決まった自分ができること、気をつけることは何なのかをしっかりと考え、大切な仲間のために、仲間を支えるために実際に行動してくれているように感じました。

これこそ、二中が大切にしてきたことです。「進路」とは、自分が行く高校を決めることで終わるわけではありません。自分や仲間の進学先、進路先を考え、悩みながら、「将来の生き方」「人としてのあり方」を考える学習です。高校や専修学校、そして就職してどんな事がしたいのか、どんなことをめざしていくのか、そして学んだことを仲間や社会のためにどのように役立てていくのか、、、。自分自身の幸福と社会に役立つ貢献をどのように共通させていくのか、、、それこそが「本当の進路学習」です。つまり、自分自身の人格や人間力を高めていくことです。

今、前期試験が終わって、それが試される時が来ました。今の自分にできること、しなければならないことを真剣に考え実践していきましょう。

実践の場は、あなた自身のクラスであり、学年であり、そして二中という学校です。

進路先が確定した人、これからの人、共に、先生たちといっしょに「本当の進路学習」に取り組んでいきましょう。



進路事務に関わる大切なお願い

私立受験、公立前期の2回の大きな入試が終わり、そのふりかえりのなかで、今後、後期試験に臨む皆さんに大切なお願いがあります。

◎その1 期限をしっかりと守る

・昨年より入試制度が大きく変わり、入試の機会が増えることで、先生たちの進路事務も数年前と比較にならないくらい膨大になりました。そこで、願書や振込みなどについては、しめきりをしっかりと守ってほしいと思います。日程的には後期試験への進路事務は1日でも遅れると、個人の問題だけではなく、全員に影響を及ぼすことになります。先生たちも点検作業を繰り返しながら進路事務を進めていますが、まずは皆さんからの書類が整わなければ点検作業すら進みません。「期限をしっかりと守って」協力して下さい。

◎その2 事務連絡をしっかりと聞き理解する

・書類や出願や受検の行動予定については、先生方より連絡をしていますが、しっかり聞いていなかったり、忘れていたりして、実際に行動できていない場合があります。たとえば「自分の願書の最終点検」や「入試結果の報告」などです。

特に今回「入試結果の報告」では、「必ず電話ですみやかに学校へ連絡する」ということでしたが、それができなかった人が、少なからずいました。後期入試では、合格発表の後、「できる限りすみやかに」学校へ電話連絡をしてください。その結果を受けて、先生方も皆さんも次の行動に移っていくわけですので、特によろしくお願いします。



◎その3 家族や先生とのコミュニケーションをしっかりと

・特に後期試験については、最終的な自分の進路先になる試験ですので、今まで以上に悩んだり考えたりすることも多いと思います。しかしながら、じっくり考える日数的な余裕はありません。そのためにも進路懇談会はもちろんのこと、しっかりと家族や先生と相談し、悔いの残らない進路選択をしてください。



最後まで皆さんをしっかりサポートしていきます。

